もっともっと利用して
市立図書館

市立図書館と六つの地区配本所には毎日、たくさんの人たちが本との出合いを求めてやってきます。

皆さんは図書館を利用したことがありますか。貸し出し冊数は年々増え、五年前の二・三倍になっていますが、まだまだ利用率は低いのです。どんな本でも気軽に利用できるところ――それが図書館です。皆さんの書斎として、大いに活用してください。ここでは、図書館の利用状況や利用方法などを紹介していきます。

市立図書館で、図書の貸し出しを受ける市民

まだまだ低い利用率

まず〔図①〕をご覧ください。

昨年度の貸し出し冊数は三万四百二十二冊です。五年前と比べると二・三倍になっています。この数字で、市民の皆さんがどれだけ図書館を利用されたかおわかりでしょう。

では、公立図書館の望ましい基準とは、いったいどの程度か、示されている数字があります。それによると、年間貸し出し冊数は人口の三倍（貸し出し率）、利用登録率は人口の一五％となっています。

白根市の場合は、〔図②③〕でもわかるように年間貸し出し冊数は人口の〇・九倍、利用登録率は三・九％にしかなっていません。

この数字には地域生活センターにある地区配本所や、でむかえ文庫での貸し出し冊数は入っていませんから、実際にはもう少し高い率になりますが、いずれも公立図書館の望ましい基準は達成していません。

貸し出し率と利用登録率は、図書館がどれくらい市民生活に浸透しているかの評価なのです。

県内で貸し出し率が最も高いところは、佐渡の金井町で人口の三・九倍、次いで新津市で人口の一・九倍です。白根市は、まだまだ利用率が低いのです。

たくさんのサービス

図書館はあらゆる人に資料を提供する役目があります。市立図書館にない本は購入したり、県立図書館やほかの図書館に紹介し取り寄せる「リクエストサービス」で、皆さんの要望に応じています。また、読みたい本が貸し出し中のときは、予約をすれば、本が戻り次第おしらせします。

市立図書館は私の家から遠い、そんな人のために遠隔地サービスを行っています。新飯田、茨曽根、庄瀬、小林、臼井、根岸の各地域生活センターに地区図書室的な配本所を設け、毎月新刊書を配本し、貸し出しを行っています。また、親子で本に親しんでもらおうと、毎月二回、保育園を巡回し本を貸し出す「でむかえ文庫」も行っています。

サービスはそれだけではありません。本のこのページを写し取っておきたいがその時間が惜しい、そんな人のためにコピーサービスも行っています。

大いに利用して

りっぱな資料やリクエストサービスがあっても、市民の皆さんに利用されなければ無価値に等しいのです。しかも特定の人が利用するのでもなく、子供からお年寄りまでみんなから利用してほしいのです。

では図書館はどうしたら利用できるか、もう一度、ここでご案内しましょう。市立図書館の電話は㉓二八一〇です。

▼開館時間／月・水・木・土曜日は午前十時から午後五時まで、火曜日と金曜日が午前十時から午後八時まで。

▼休館日／日曜日と祝日、年末年始、特別整理期間

▼貸し出し／一人二冊まで、一週間借りられます。また十人以上の団体や読書グループには、団体貸し出しを行っています。一団体五十冊まで、期間は三十日以内です。

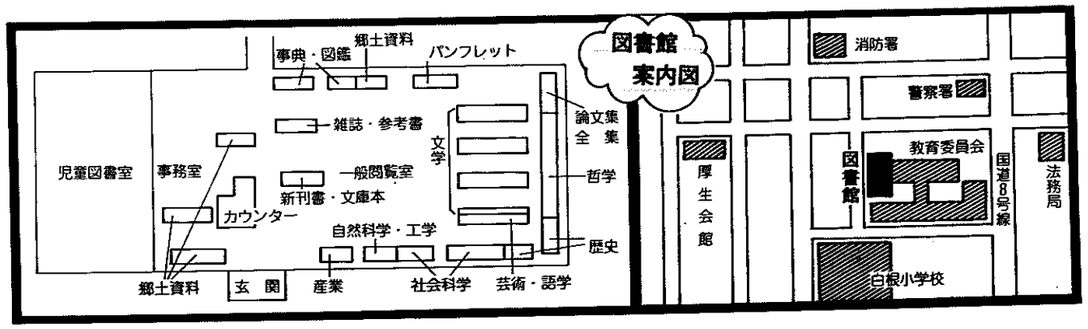
▼利用登録／市内に住んでいる人、又は市内に通勤、通学している人ならどなたでも借りられます。

あなたの書斎に

初めて本を借りるときは、図書館カウンターに用意してある「館外利用申込書」に、必要事項を記入していただくだけで結構です。その際、印かんが必要ですので忘れずにお持ちください。

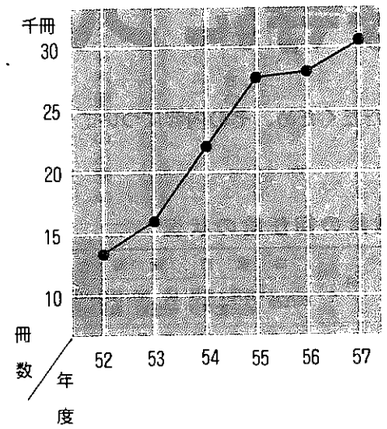
図書館では、もっともっと蔵書を増やして、市民が借りたい本をすぐ提供したいのです。現在、三万二千冊の蔵書がありますが、これをまず五万冊に増冊し、皆さんの要望にこたえたいと考えています。

本を買えば一冊平均千円ほどになります。買わずに図書館をもっともっと利用してほしいのです。図書館はあなたの書斎なのですから…。

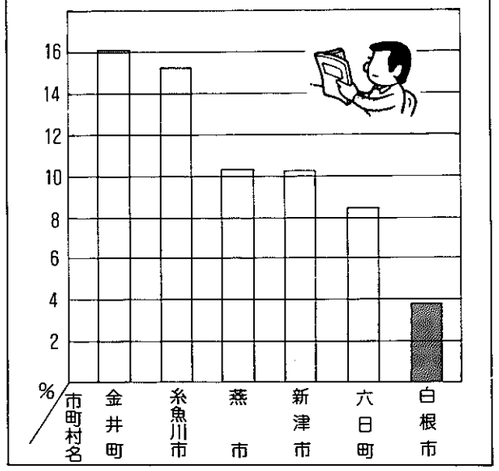
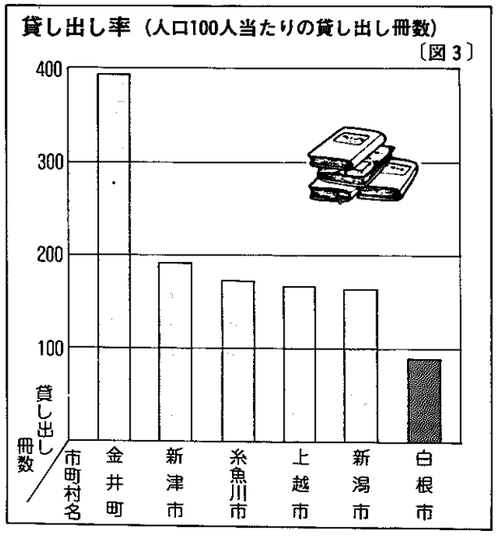


図書館はあなたの書斎です

館外貸し出し冊数〔図1〕



利用登録率（人口に占める割合）〔図2〕



貸し出し率（人口100人当たりの貸し出し冊数）〔図3〕